

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE 広島 2016年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

(仮称)「ユルディ井口5丁目新築工事

配慮項目	評価点	重み係数	内訳									
■1.「地球温暖化対策」の推進												
1.1 建物の熱負荷抑制												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.25	Q1 室内環境	2 温熱環境	2.1 室温制御	2 外皮性能						
	3.0	0.75	LRI エネルギー	1 建物外皮の熱負荷抑制								
小計	3.0	0.14										
1.2 自然エネルギーの利用												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LRI エネルギー	2 自然エネルギー利用								
小計	3.0	0.05										
1.3 設備システムの高効率化												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□	3.4	1.00	LRI エネルギー	3 設備システムの高効率化								
・LED照明等の高効率設備機器の採用												
小計	3.4	0.26										
1.4 設備システムの効率的運用												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.00	LRI エネルギー	4 効率的運用	集合住宅以外の評価	4.1 モニタリング						
	3.0	0.00	LRI エネルギー	4 効率的運用	集合住宅以外の評価	4.2 運用管理体制						
	3.0	0.50	LRI エネルギー	4 効率的運用	集合住宅の評価	4.1 モニタリング						
	3.0	0.50	LRI エネルギー	4 効率的運用	集合住宅の評価	4.2 運用管理体制						
小計	3.0	0.10										
1.5 資源・マテリアル対策												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□	1.0	0.10	LRI 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水							
・LGS下地の採用	3.0	0.11	LRI 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1 雨水利用システム導入の有無						
	3.0	0.05	LRI 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	2 雜排水等利用システム導入の有無						
	2.0	0.08	LRI 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減							
	3.0	0.15	LRI 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用							
	3.0	0.15	LRI 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 軸体材料におけるリサイクル材の使用							
	1.0	0.15	LRI 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 軸体材料以外におけるリサイクル材の使用							
	2.0	0.08	LRI 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材							
	4.0	0.15	LRI 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み							
小計	2.5	0.31										
1.6 ライフサイクルCO2排出率												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.7	1.00	LRI 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮								
・LCCO2排出率=81%												
小計	3.7	0.13										
1.「地球温暖化対策」の推進の評価												
	3.0	0.67										
■2.「ヒートアイランド対策」の推進												
2.1 温熱環境の向上												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.45	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出								
	3.0	0.22	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上							
	3.0	0.33	LRI 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善							
小計	2.1	0.95										
2.2 交通負荷抑制												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	1.00	LRI 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制						
小計	1.0	0.05										
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価												
	2.0	0.19										
■3.「長寿命化対策」の推進												
3.1 耐用性の向上												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.50	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振	1 耐震性(建物のこわれにくさ)						
・給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用	3.0	0.13	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振	2 免震・制震・制振性能						
	3.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 軸体材料の耐用年数						
	2.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						
	2.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主内装仕上げ材の更新必要間隔						
	3.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔						
	5.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔						
	3.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔						
小計	3.0	0.44										
3.2 設備の更新性												
(コメント) ※設計の計画上段に記載した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性						
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給排水管の更新性						
	3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性						
	3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性						
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性						
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペースの確保						
小計	3.0	0.56										
3.「長寿命化対策」の推進の評価												
	3.0	0.14										
■重点項目の総平均(上記3項目)												
		2.9										